

◆14 番（小川義昭議員）

今ほど、市のほうから、この庁舎と病院の間の土地利用については国、そして県の公共施設を集積統合した施設としての開発、これは行政機能の中心として、またそれからまちづくりの観点からもこういった施設を誘致、さらには立地することに関しては大変大切なことであり、また地元の意向も踏まえて検討を進めるという答弁をいただきました。本当に、明確で前向きな具体的な答弁をいただきまして感謝申し上げます。

この質問を初めて私自身が行ったのが、平成 23 年 9 月定例会であります。したがって、悲願 10 年目にしてやっと一筋の小さな小さな明かりを見いだした感があるかなというふうに思います。

そこで、せっかくの機会ですので、もう一步踏み込んでお伺いをしたいと思います。

国・県に対して施設統合の誘致や立地に向けての働きかけについては、いつからどのように対応されるのか。

そして、さらに今ほども質問いたしましたように、来年度は山田市長 2 期目の最後の年度でもあります。したがって、この壮大な事業を来年度以降の中期事業計画に組み入れ、取組を開始してはいかがですか。2 点について再質問いたします。よろしくお願いたします。